

投稿

香里ヶ丘中央公園への美術館建設強行に反対

—— 香里ヶ丘の植物と再開発の波 ——

影 千恵子・粟田 泰子 (香里ヶ丘見守り隊)

香里ヶ丘は、標高 20~50m、枚方丘陵と呼称される地形をしています。この丘陵はかつては旧日本軍の弾薬保管所という暗い歴史がありますが、昭和 33 年からニュータウンとして生まれ変わりました。

丘陵の地質は粘土質であり、そのため穂谷や尊延寺辺りで見られる植物が団地周辺のそちこちに残っています。

敷地法面をコンクリートで固めず、土手として



粟田さん(上)と影さんと犬のエルモ(9/20 香里ヶ丘中央公園)

残しているため、ツリガネニンジン、ワレモコウ、カナビキソウ、ススキ、オガルカヤ、クサボケ、ノアザミ、ノイバラ、クサレダマ、ズズサイコ、ネジバナ、ツルボ、ヒガンバナ等が折々に花を咲かせ、目を楽しませてくれます。

香里ヶ丘には、自然の地形を活かした 15 の公園と湧泉の池を配した造園公園が一つ、全部で 16 の公園があり、それぞれ

に種々の植物が見られます。崖状の地形のためか、カヤツリグサやスゲ等の湿地生のものが見られます。

16 の公園の中で中心的存在が中央公園です。殆どの公園には里地里山で普通に見られるコナ

ラ、アラカシ、カマツカ、モチツツジ、シャシャンボ、ヒサカキ、アカマツ、カナメモチ、マルバアオダモ、ザイフリボク、クヌギ、ネジキ、リョウブ等が繁りこんもりとした森を形成しています。

香里ヶ丘も最近宅地開発が急速に進み、樹木は切られ、法面は固められ、敷地一杯に家が立ち並ぶ住宅地になってきました。

この様な状況で緑を残す公園の重要性、必要性が増々高まるというのに、中央公園に負担付美術館を建設するという計画が着々と進行しています。団地と共に、或いはそれより以前から生息してきた樹木を切り、地形を崩して建設を強行しようとしています。

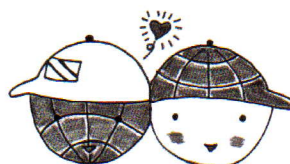
ある場所の破壊の影響はその場所だけに止まらず、じわりじわりと他の場所へ波及し生態系を破壊していきます。何としてでもこの破壊を食い止めたいと願ってやみません。



一六〇人が建設予定地の中央公園に集まりました(九・二〇)

平和で豊かな枚方を市民みんなで作る会

共同代表 松本 健男 (弁護士)
家高 憲三 (元教育長)
黒田 薫 (平和都市枚方を考える市民の会)
鈴木めぐみ (親と子のリズム遊び講師)
奥村 秀二 (弁護士)
おおた幸世 (枚方市平和無防備条例を実現する会)
事務局長 手塚 隆寛 (枚方市議員)



「会」のシンボルマーク
塔本賢一さん作

〒573-1197
枚方市禁野本町
1-5-15-106
市民の広場“ひこばえ”
Tel.&Fax
072-849-1545

毎月の配布を希望される方、または配布を希望されない方はお手数ですが連絡ください